

プロも使う Yocto 開発環境で初体験! [ご購入はこちら](#)

# ラズパイ時代のレベルアップ! MyオリジナルLinuxの作り方

## 第10回 最新開発環境 Yocto 2.3のいいところ

三ツ木 祐介

表1 ラズベリー・パイで使用するリポジトリ

リポジトリ	役割	URL
poky	コア環境、ツールと最低限必要なレイヤなどを含む	<a href="https://git.Yocto Project.org/poky.git">git://git.Yocto Project.org/poky.git</a>
meta-raspberrypi	ラズベリーパイのBSP	<a href="https://git.Yocto Project.org/meta-raspberrypi">git://git.Yocto Project.org/meta-raspberrypi</a>

前回までは Yocto Project を使用してラズベリー・パイ3でGPSを動かしました。今回は少し趣向を変えて、Yocto Projectの最新リリースについて紹介します。

### 開発環境 Yocto の最新バージョン

Yocto Project を使用したラズベリー・パイでの環境は、表1のように複数のリポジトリからファイルをダウンロードすることで構成されています。

#### ● Yocto Project のバージョン管理

Yocto Project 自体のバージョン管理は poky のリポジトリで行われます。meta-raspberrypi などのリポジトリでは、poky のバージョンを追従するようにブランチが作成されていきます。

Yocto Project のバージョンとブランチ名の関係を表2に示します。

#### ● リリース済みブランチが安全

master ブランチで作業することもできますが、master ブランチは常に最新状態となるため、作業する時期によってはビルドがうまく通らないなど、トラブルに遭遇する確率が高くなります。そのため、リリース済みのバージョンのブランチを使用することでなるべく安全に作業できるようにしています。

#### ● 2017年5月リリース最新版 pyro への移行を検討中

今までの作業環境は poky も meta-raspberrypi も krogoth ブランチを使用していました[第8回(2017年7月号)のコラムで紹介]。既に morty ブランチがリリースされていましたが、meta-raspberrypi の morty ブランチでは、素の状態では無線や GUI 環境が

動作しないなどデグレードが多く見られたため、記事での使用を見送っていました(ただし個人的には使用していた)。

2017年5月に poky の pyro がリリースされ、その後、meta-raspberrypi でも pyro ブランチが作成されました。今のところ、morty ブランチで見られたような明らかな不具合なども見つかっていないため、今後は pyro ブランチでの作業を検討しています。

### 新機能

poky と異なり、meta-raspberrypi 自体はリリースという概念がないため、リリース・ノートのようなものはありませんが、いくつか面白い機能が追加されているため紹介します。

- ・タッチ・スクリーン付き LCD への対応 (pyro)
- ・ラズベリー・パイ3の64ビット対応 (morty)

表2 Yocto はバージョンを追従するようにブランチが作成されていく

バージョン	ブランチ名
2.3	pyro
2.2	morty
2.1	krogoth
2	jethro
1.8	fido
1.7	dizzy
1.6	daisy
1.5	dora
1.4	dylan
1.3	danny
1.2	denzil
1.1	edison
1	bernard